

# 佐野市景況レポート

令和5年1～3月期



佐野商工会議所  
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1  
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517  
HP <https://www.sanocci.or.jp>  
E-mail [s-cci@sanocci.or.jp](mailto:s-cci@sanocci.or.jp)  
調査協力：佐野市あそ商工会

## 《 概 況 》

### ウィズコロナからアフターコロナへ

#### 【 令和5年1～3月期 実績 】

全業種業況 DI 指数は▲29.8、前期（12月期）比+4.7ポイントと、市内事業所の景況感は前期より改善しました。

利益 DI 指数は▲39.5（前期比+6.1）と改善しました。売上高 DI 指数は▲26.7（前期比▲3.8）と悪し、原材料・仕入価格 DI 指数は 61.7（前期比▲11.0）、販売価格 DI 指数は 21.3（前期比 +0.8）と、原材料・仕入価格指数は減少しましたが、販売価格への転嫁は遅れています。特に、食品製造業は原材料・仕入価格指数 89.2、販売価格指数 27.3 と 61.9 ポイント差より販売価格への転嫁が難しい状況が見られます。

#### 【 令和5年4～6月期 見通し 】

全業種業況 DI 指数は▲26.1（前期比+6.5）と、今後3カ月間の景況感は改善の見通しです。売上高 DI 指数▲18.1（前期比+4.9）、原材料・仕入価格指数 55.0（前期比▲2.1）、販売価格指数 16.0（前期比+7.9）と、原材料・仕入価格 DI 指数はほぼ横ばいながら、売上 DI 指数、販売価格 DI 指数ともに改善の見通しです。

#### 【 事業所等の景況コメント他 】

今回の景況に関するコメントには、前期同様に原材料・仕入価格、電気料金の高騰がほぼ全業種で記載されていました。一方、製造業においては人手不足・人件費上昇。飲食・サービス業は新型コロナ5類引下げ等による来店客増加等の期待が記載されていました。

城南信用金庫（大手信金）が1月に実施した取引先アンケートには、「7割の企業が賃上げできない、予定なし」と回答。また、「価格転嫁ができず利益が出ない、人材確保ができない」との回答もある。『価格転嫁→利益→賃上げ→人材確保』の好循環が必要です。

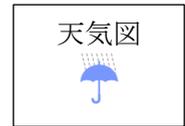
#### 〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和5年1～3月期)		見通し (令和5年4～6月期)	
業 況	▲29.8		▲26.1	
売 上 高	▲26.7		▲18.1	
販 売 価 格	21.3		16.0	
仕 入 価 格	61.7		55.0	
労 働 力	▲26.1		—	—

\* 天気図の説明  
(数字は DI 値)  
・ 仕入価格、販売経費、在庫は DI 値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26 以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26 以下

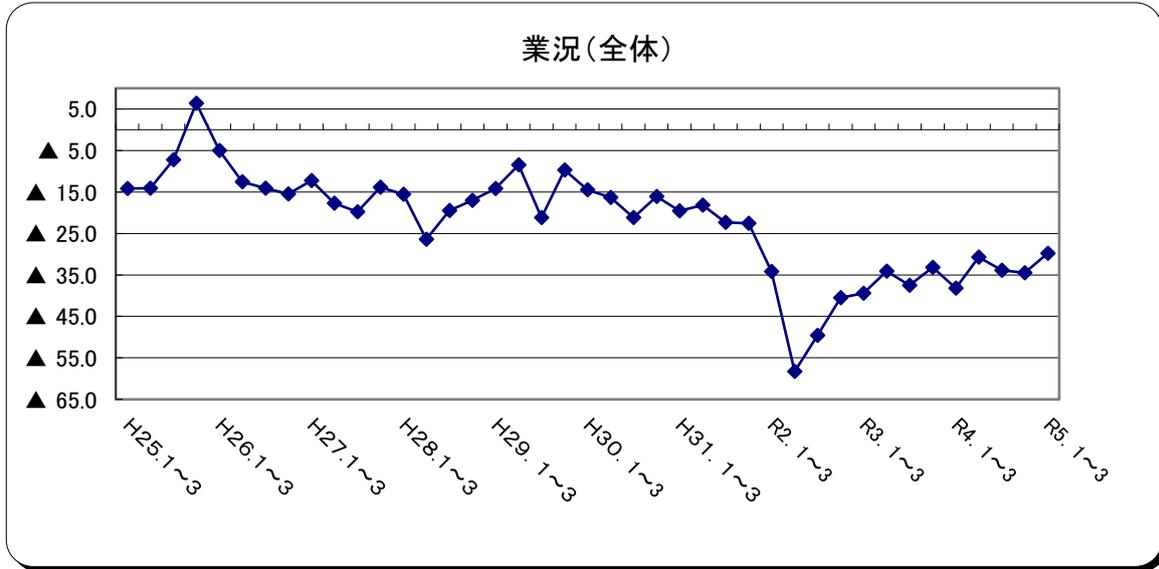
## ☆ 業況について（令和5年1～3月期実績）



全業種DI指数▲29.8、前期比4.7ポイント上昇  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業▲6.8ポイント、②サービス業▲19.0ポイント、③機械・金属製造業▲20.7ポイント、④卸売業▲24.3ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲25.7ポイント

良い  
↑  
悪い



## ☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和5年1～3月期実績）



全業種DI指数61.7、前期比▲11.0ポイント低下  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業89.2ポイント、②卸売業75.0ポイント、③建設業73.0ポイント、④飲食業70.0ポイント、⑤その他の製造業69.2ポイント

上昇  
↑  
下落



☆ 売上高について（令和5年1～3月期実績）

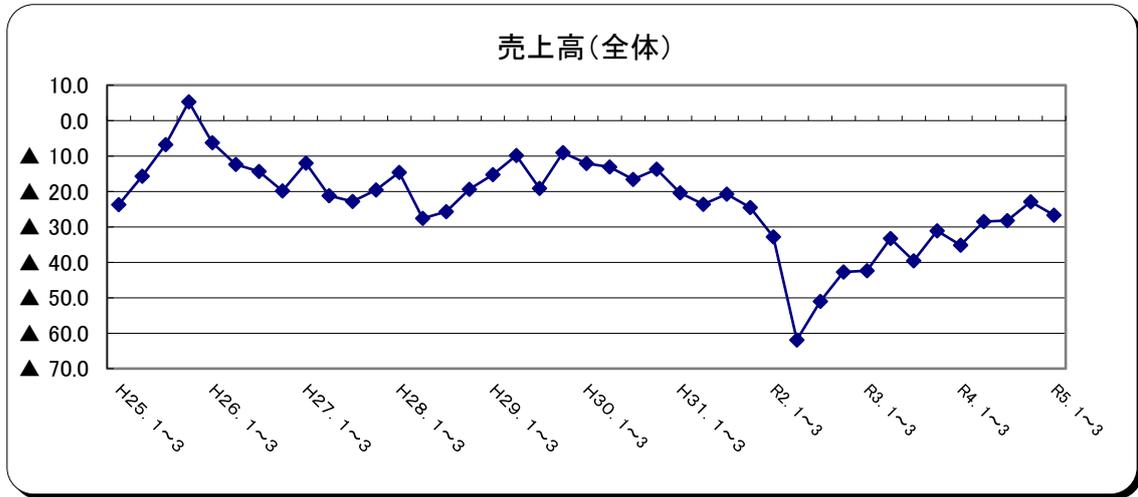


全業種DI指数▲26.7、前期比▲3.8ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 0.0ポイント、②その他の製造業▲7.3ポイント、③機械・金属製造業▲10.0ポイント、④食品製造業▲15.0ポイント、⑤繊維品製造業▲17.6ポイント

増加  
↑  
減少  
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和5年1～3月期実績）

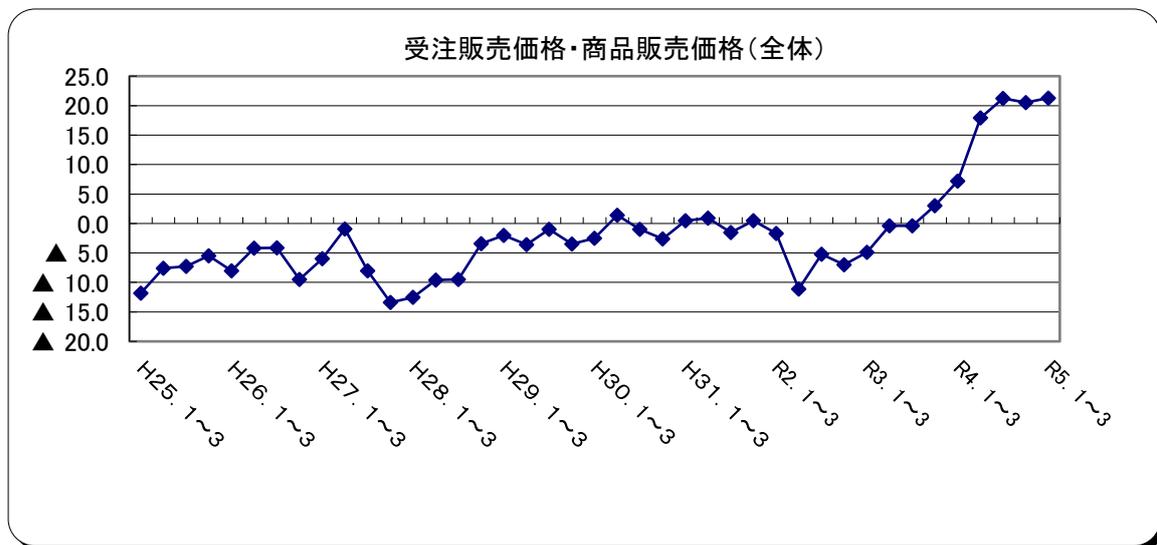


全業種DI指数 21.3、前期比 0.8ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 52.9ポイント、②その他の小売業(大型店含む)33.3ポイント、③建設業 28.6ポイント、④食品製造業 27.3ポイント、⑤小売業(飲・食料品)25.7ポイント

上昇  
↑  
下落  
↓



## ☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和5年1～3月期実績）

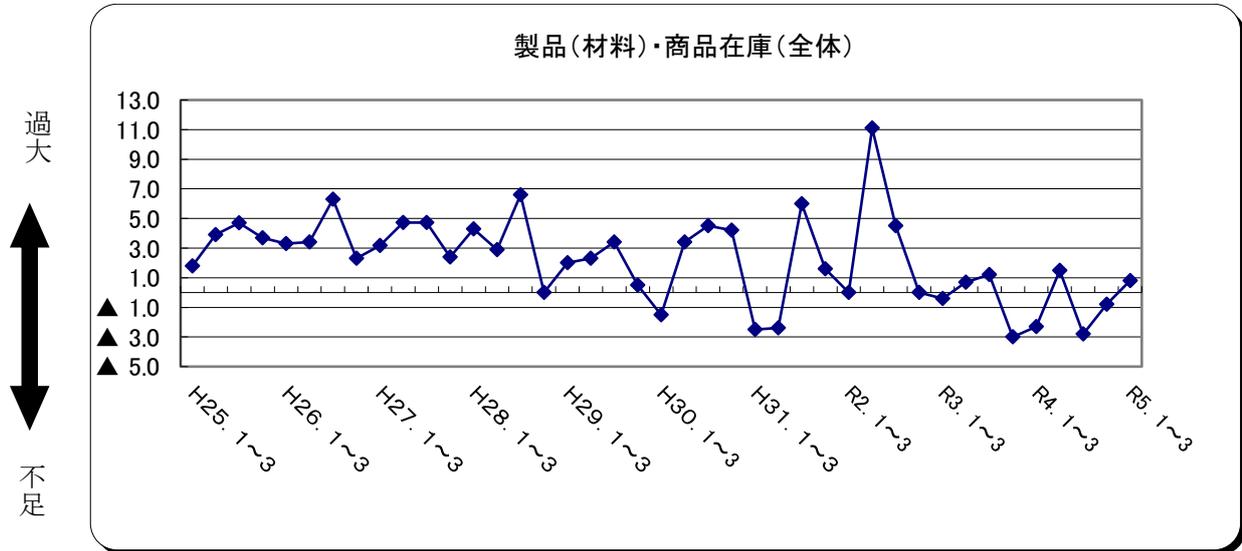
天気図



全業種DI指数0.8、前期比1.6ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業（飲・食料品）15.8ポイント、②機械・金属製造業9.4ポイント、③繊維品製造業5.5ポイント、④飲食店4.1ポイント、⑤化学・プラスチック製造業3.5ポイント



## ☆ 利益状況について（令和5年1～3月期実績）

天気図



全業種DI指数▲39.5、前期比6.1ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲20.7ポイント、②建設業▲28.6ポイント、③サービス業▲30.8ポイント、④繊維品製造業▲34.6ポイント、⑤食品製造業▲34.9ポイント



## ☆ 資金繰りについて（令和5年1～3月期実績）

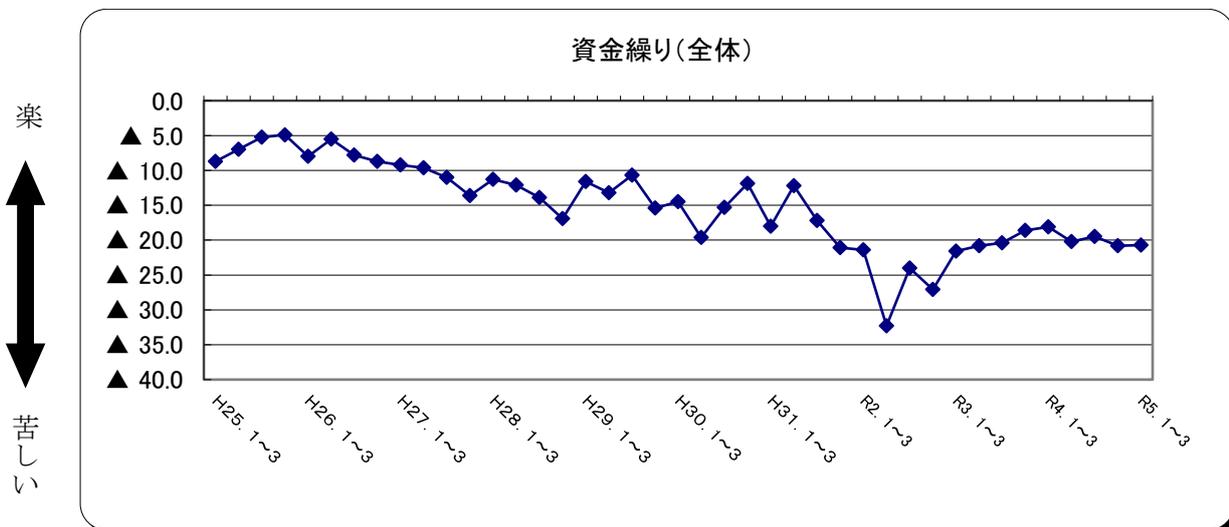
天気図



全業種DI指数▲20.7、前期比0.1ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業▲0.0ポイント、②機械・金属製造業▲4.6ポイント、③サービス業▲7.0ポイント、④卸売業▲8.1ポイント、⑤建設業▲14.0ポイント



## ☆ 労働力について（令和5年1～3月期実績）

天気図



全業種DI指数▲26.1、前期比▲0.2ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業▲5.5ポイント、②サービス業▲7.0ポイント、③卸売業▲8.1ポイント、④機械・金属製造業▲15.3ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲16.2ポイント

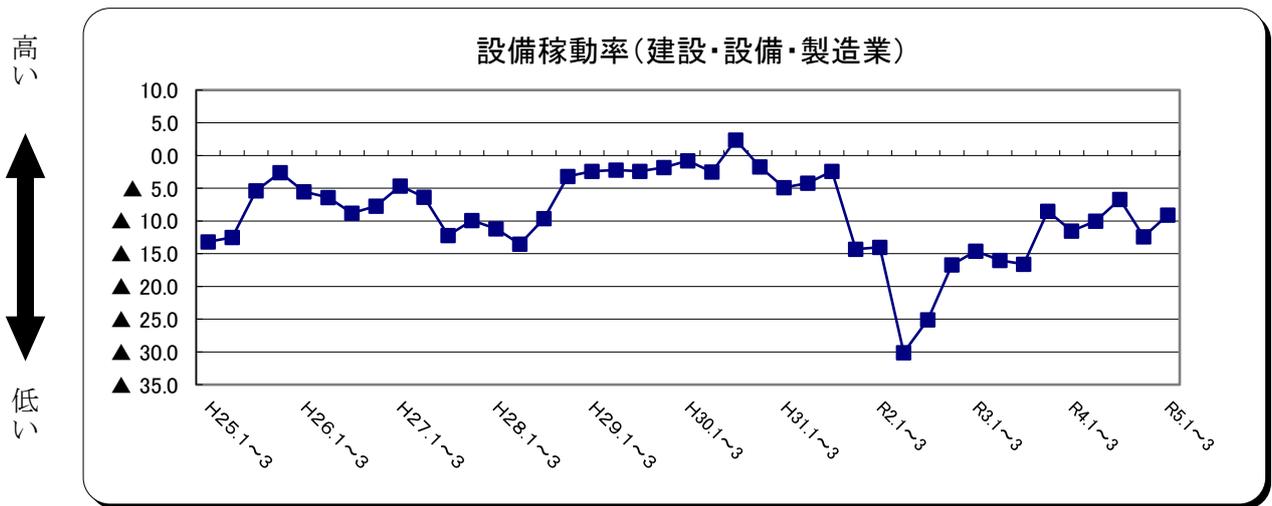


☆ 設備稼働率について（令和5年1～3月期実績）  
（建設・設備・製造業関係）



全業種DI指数▲9.1、前期比3.3ポイント上昇  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲4.6ポイント、②食品製造業▲6.7ポイント、③建設業▲6.8ポイント、④その他の製造業▲13.0ポイント、⑤繊維品製造業▲16.4ポイント

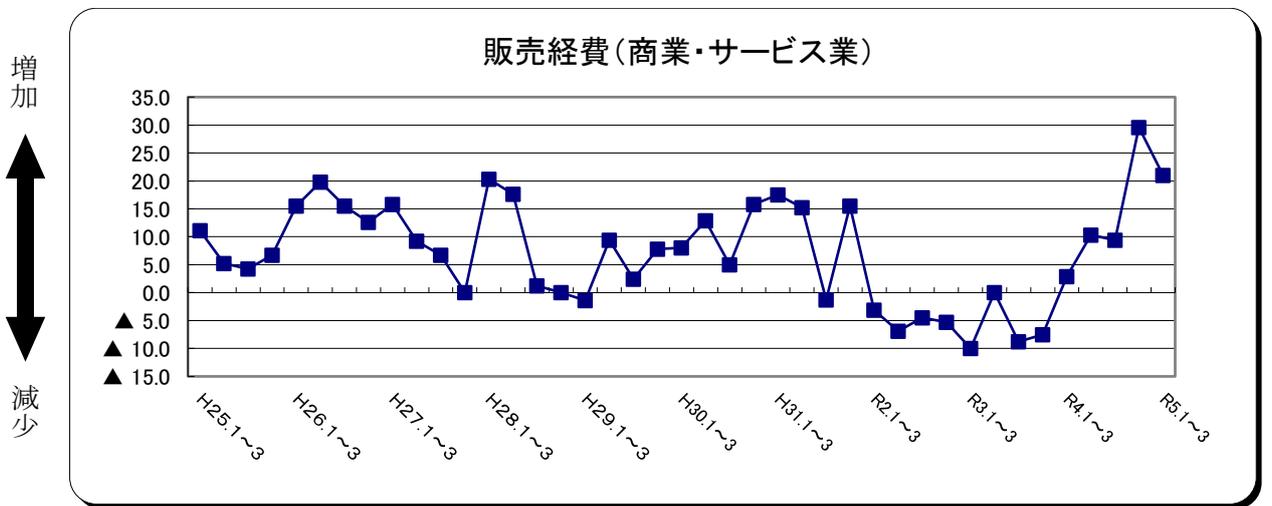


☆ 販売経費について（令和5年1～3月期実績）  
（商業・サービス業関係）



全業種DI指数21.0、前期比▲8.6ポイント低下  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 42.9ポイント、②小売業(飲・食料品)33.3ポイント、③飲食店 28.1ポイント、④サービス業 15.4ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)4.1ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和5年4～6月期の見通し）の業況について

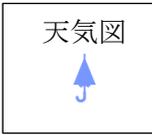


全業種DI指数▲26.1、前期比6.5ポイント上昇  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 8.1ポイント、②その他の製造業▲14.3ポイント、③設備業▲22.2ポイント、④建設業▲25.3ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲25.7ポイント

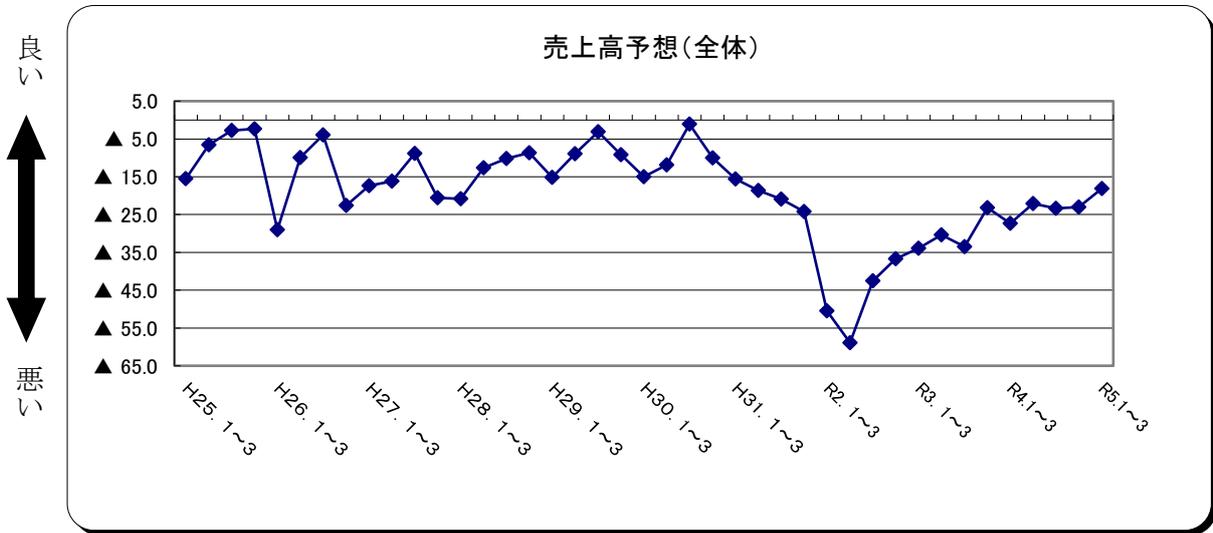


☆ 今後3ヶ月先（令和5年4～6月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲18.1、前期比4.9ポイント上昇  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 0.0ポイント、②食品製造業▲7.0ポイント、③化学・プラスチック製造業▲7.3ポイント、④サービス業▲10.8ポイント、⑤繊維品製造業▲11.5ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和5年4～6月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について



全業種DI指数 55.0、前期比▲2.1ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 80.0ポイント、②食品製造業 78.9ポイント、③小売業(飲・食料品)67.7ポイント、④繊維品製造業 67.3ポイント、⑤建設業 53.8ポイント

上昇  
↓  
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和5年4～6月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

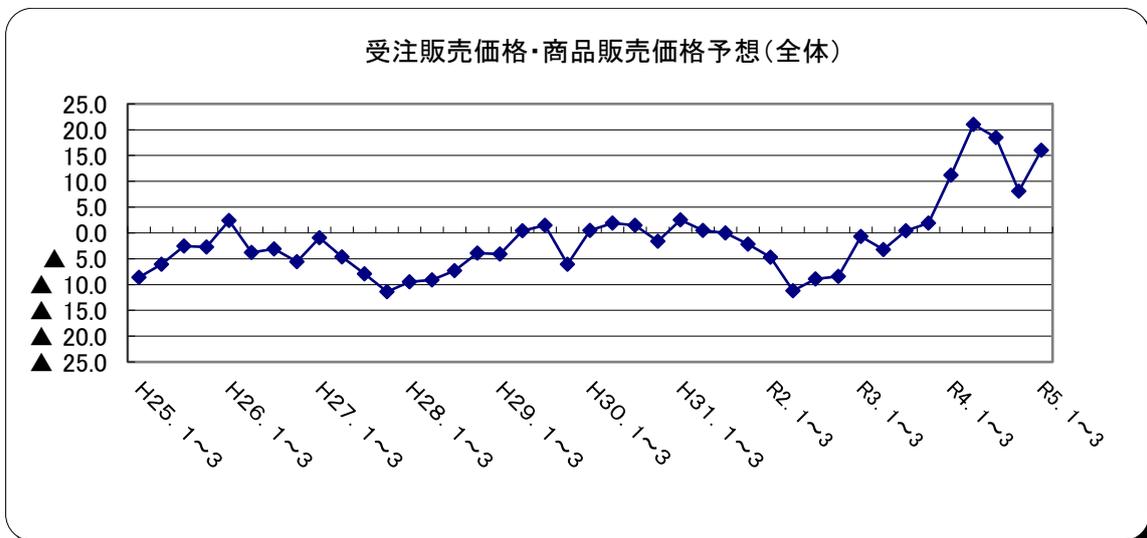


全業種DI指数 16.0、前期比7.9ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

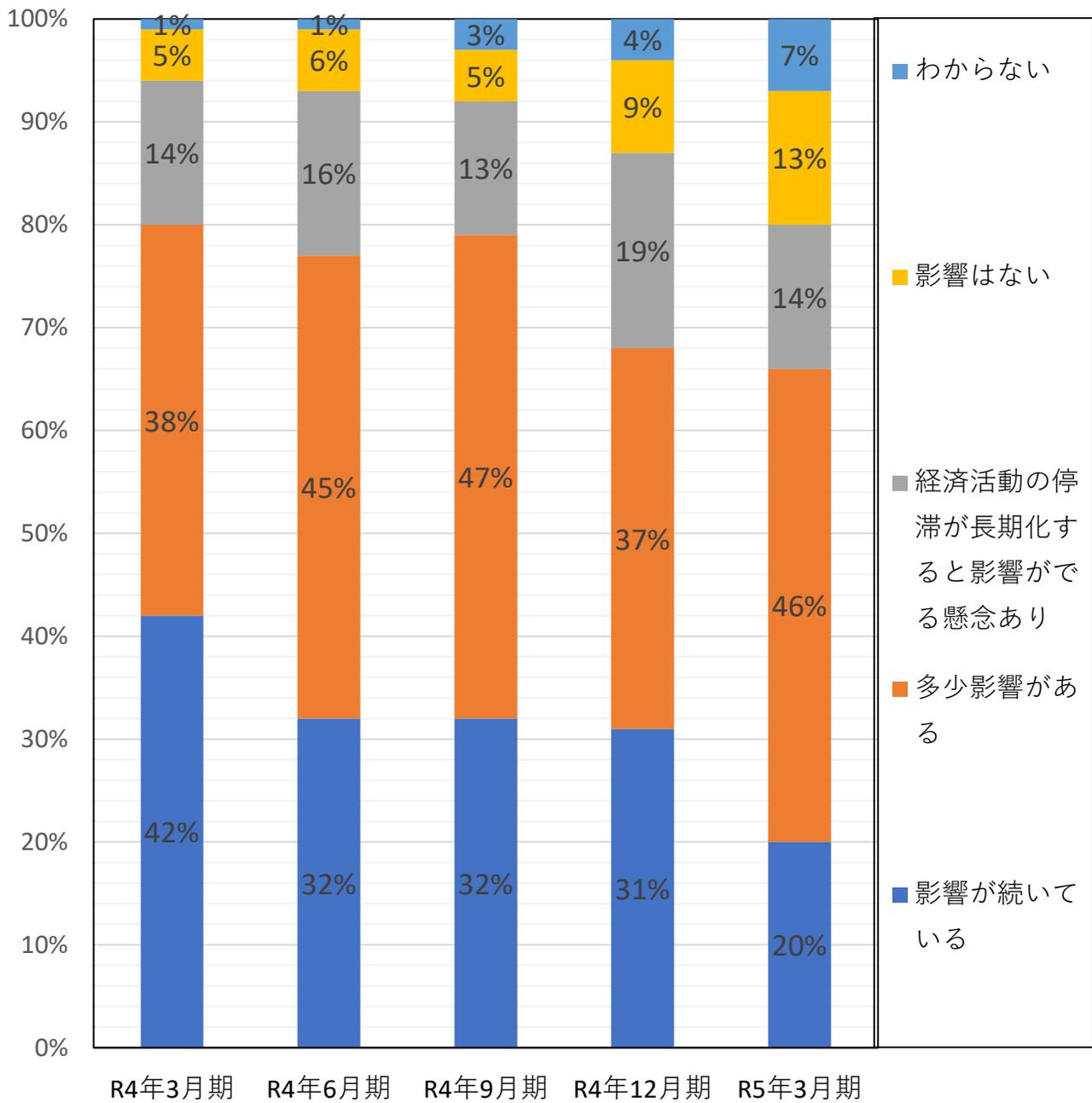
- ①卸売業 45.5ポイント、②その他の製造業 34.9ポイント、③その他の小売業(大型店含む)28.0ポイント、④小売業(飲・食料品)25.7ポイント、⑤繊維品製造業 22.2ポイント

上昇  
↓  
下落



# 新型コロナウイルス影響の推移

(令和4年3月期～令和5年3月期)



## ☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

### 建設業

- ・ 現況設備の刷新をして作業の効率化を計る必要性があります。新規製品や事業を模索していきたい。
- ・ 木材価格の上昇により新築物件が減少している。
- ・ 電気代上昇がこわいです。
- ・ 毎度お世話になります。弊社の最大の課題は労働力不足でありますので人材の紹介、斡旋等のご支援を頂けると助かります。
- ・ 仕入れ価格がかなり上昇しており、その影響で販売競争が激化している様に感じます。
- ・ 物価高、ガソリン代の高止まりにより経費がかかってしまっている。

### 設備工事業

- ・ 部材の仕入れが不安定。
- ・ いよいよコロナも本格的に明けそうです。色々期待しています。
- ・ 依然として原材料価格の高止まりや、エネルギーコストの増加は負担となっている。
- ・ 全ての資材、機器、管材等仕入れ価格の上昇、人件費の上昇、未だに調達が困難な機械も有り完成工事高の減少となる。

### 繊維品製造業

- ・ 動力費(電気代)がかなり値上りして、現状では厳しい状況。価格転換も難航している。半導体不足も続き売上が減少している。
- ・ 先の見えない物価上昇！賃金上昇にも不安があります。
- ・ 2月：インド、今月：台湾に出張したが、共に経済回復傾向にあります。
- ・ ユーティリティコストの上昇がかなり影響してきそう。
- ・ 電気代だけでなく人件費上げ圧力が強いです。値上げを打ち出して行こうと思います。

### 食品製造業

- ・ 全てにおいて物価高を感じており、先が見えず心配な日々です。働き手を探しても、日曜日、祝日お休みでない人が来てくれません。サービス業は大変なことになりそうです。割り切って月曜日をお休みにした方がいいのか…。気持ちだけでもポジティブに行きたいです。
- ・ コロナがなかったらウクライナとロシアの戦争が始まらなかったらと「たら」「れば」がなければ市場、会社の売上、利益は中長期通りに進んだのかなと思う反面、仮にこの3年の大きな出来事がなくとも物価高騰は遅かれ早かれ起きたのかなと考えたら、コロナ前の中長期は見誤っていたのかなとも思うところがある。
- ・ 景気の話ではありませんが、本当に人不足で困っています。商工会議所として、佐野市と協同での施策を期待しています。
- ・ 政府は物価高対策として住人税非課税世帯へ給付金を配るようですが、配るより取らない方が面倒ではないかと思う。なので消費税はしばらく廃止すべきです。廃止すれば低所得者だけでなく全国民が助かるのです。さらに面倒なインボイス制度をやらずに済むのです。

### 機械・金属製品製造業

- ・ バイクが入荷しない。
- ・ 少し受注が増加してきたが、4月以降は不透明感が残る。
- ・ ロシア、コロナ、中国の動向のより大きく仕入れに影響します。早期解決を願う。
- ・ 木材関係、車関係、鉄鋼関係すべて悪くなってきました。
- ・ 仕入は上がり売値は下がり…何で？

## 化学・プラスチック製品製造業

- ・電気代高騰によるのと、4月からまたまた上がる予定にてベースアップも含め企業には大変になると思う。
- ・現状では新規案件の動きが良くないため受注案件を多くするような販売力を強化したい。
- ・物価高、電気代の高騰の影響はかなり大きいです。材料が集まらない影響が出ています。
- ・電気代。
- ・3月客先期末の為、駆け込みがある。コロナで延期していたのもあるので現状は急ぎだが先行不明。
- ・何種類か仕事をしたいたしますが、加工業でストレッチなど石油の売上げに波が大きくなっていて生産がむずかしい。
- ・電気代の高騰により収益が大幅に圧迫されている。助けて欲しいくらいです。このままでは大変です。
- ・自動車業界の生産低迷が多方面に影響が出ている。
- ・原材料及び燃料の高騰による影響が大きく響いている状況です。
- ・原料費の価格転嫁は昨年実施、電気料金の上昇が続いている為本年はお願いをしていく。

## その他製造業

- ・年度末による特需で注文は多い、しかし材料は高騰し不足ぎみ。高騰したものは高止まり傾向にある。労働力は物作り産業なので、多少のスキルが必要なので不足していると言える。設備に資金はまだ不安がある。
- ・電力料金や消耗品、修理代金の上昇が大きく値上げが追いつかない。
- ・業界全体としては良くない。普段の付き合いが大事。
- ・電気料など値上がりがきつい。

## 卸売業

- ・当社においては客先に個人事業者が多数有り、その多くの人々が高齢化しており、歳だからそろそろ辞めようかと言っている方が多い！
- ・4月～6月値上げ続く。
- ・エネルギー、資材等各方面の値上がりアッパーブローにならない様に願っています。
- ・製造業の減産、電気代の高騰によるコスト大幅増が利益を圧迫しています。利益の下方修正が続きます。
- ・年末から全体的に雰囲気は良くない。

## 小売業（飲・食料品）

- ・倍、倍ゲームでいこうという意気込みです。何かの際はご協力お願いします。いつもありがとうございます。
- ・仕入価格の上昇により、少しですが販売減少！
- ・原材料の値上げが止まらず大変です。商品の値上げもしなくてはならないかも。
- ・5月からに期待します。

## その他の小売業（大型店含む）

- ・コロナは落ち着いてきましたが、お客様の足はまだ遠いみたいです。
- ・コロナも関係しますが、お客さんが高齢してくるので、来客が減少しています。
- ・新型コロナより景気が落ち込み続けております。
- ・注文件数が減少している。半分休業中です(店舗建築中)
- ・仕入価格が上がっているが客単価がなかなか上がらない。
- ・マスクのガイドライン(小売)が目安でいいので欲しい。いつまでマスクは付けたらいいのかわかりません。

- ・売上は毎月悪いが、3ヶ月に1回プレミアム付売り出しをすると売上げは上がって来る。前月は頑張った(2月度)
- ・人流の回復にともない衣料品の構成が上がっています。収益構造は回復傾向にありますが厳しい状況は続いています。

## 飲食店

- ・少々小人数は戻って来ましたが、大きな宴会がないので大変です。
- ・3月から販売価格の見直し実施。
- ・3月に入り少しずつ来店者が増加しつつあります。
- ・光熱費の上昇、仕入価格の上昇、欠品等に苦しむ。
- ・早くコロナウイルスが終息してほしい。
- ・新店舗は大工さんとトラブルがあり、まだ進んでいません。土地は購入済です。何かありましたら宜しくお願い致します。
- ・物価高騰の影響を受けて厳しい現実です。
- ・人の動きが活発になりつつあり期待がもてる反面、光熱費などの高騰で販売価格を再び見直しせざるおえない状況になってきている。
- ・原材料費、光熱費の上昇が続いている。
- ・いつもお世話になります。少しずつではありますが、客足が戻りつつあるように思われますが波がありすぎます。値上げをしなければいけないのですが、あまり高くなっても売れるかどうか心配でふみ切れません。
- ・仕入価格の上昇を中々売上に転嫁できずにいる。早く全ての状況が良い方向に行く事を願い努力している。
- ・今後も宴会、会食等は気持ちできない。
- ・マスク解禁、分類変更、春、GWと明るい話題が多く今後に期待している。
- ・もう今までのように補助金が支給されることはないと思いますので、地に足をつけてしっかり販促活動を行っていきたいと思います。
- ・大きな宴会は期待せず小人数をコツコツ積み上げて、売上拡大を図っていきたいと思います。
- ・3/13のマスク解禁、5月の分類変更によりたくさんのお客様に来店していただくことを期待しております。
- ・3月～4月の歓送迎会に期待しています。
- ・3/13よりマスクが自由化となり新たな気持ちでお客様が来ていただくとうれしいです。

## サービス業

- ・巣ごもり需要が減少してきたように感じます。
- ・電気料、仕入がほぼ値上り以前より大変。お客様も必要な物にはお金をかけるが、美容の方にはかける割合が減ってきていると思う。
- ・新型コロナウイルスが流行し始めた頃に比べると身近な方(お客様)の感染が増えた。
- ・1月や3月は以前だと新年会や送別会などでよく利用して頂きましたが、今年も全くなく苦しい状況です。
- ・ずっと同じ感じで推移している。
- ・結婚式場の為、半年以上先の売上見込客を追いかけている。見学者数は対2019年比に戻ったが売上は減少。
- ・コロナの影響はほとんどなくなりました。
- ・仕入れ単価と光熱費の上昇が止まらない。
- ・イベント業はもう少しで元どおりといった感じ。
- ・音響機器が手に入りづらい。半導体不足そして値段が1.3～1.5倍になった。
- ・もう少し辛抱します。

## 佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和5年1月～3月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、201社（回答率69.3%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

### (1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

### (2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

### (3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

### 3 分析方法[景況動向指数（DI）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

DI方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所